鎌倉の埋蔵文化財17

Buried Cultural Properties in Kamakura 17

平成24年度発掘調査の概要

平成26(2014)年３月
鎌倉市教育委員会

～ごあいさつ～

私たちが暮らす鎌倉市の地下には、かつて栄えた中世都市が埋蔵文化財として今でも多く残っています。これらの埋蔵文化財はさまざまな土木工事等によってそのままの姿で保存できないことも少なくありません。開発事業や土木工事により、やむを得ず歴史遺産が失われてしまうことは残念ですが、発掘調査により当時の様子を知り、鎌倉の歩んできた歴史が一つずつでも解明されることは大変貴重なことと考えます。

鎌倉市教育委員会では、発掘調査関係者のご協力を得ながら『鎌倉の埋蔵文化財』の発行をはじめ、遺跡調査速報展や鎌倉駅地下道ギャラリーのパネル展示、遺跡調査・研究発表会の開催など実施して発掘調査の成果を広く紹介しています。

『鎌倉の埋蔵文化財17』では、平成24年度に実施した発掘調査の中から、６地点の概要をお知らせいたします。

これからも、さまざまなかたちで発掘調査の成果をご紹介するよう努めてまいりたいと思います。今後とも、文化財保護に対するご理解とご協力をお願いいたします。

平成26(2014)年３月　鎌倉市教育委員会

～目　次～

1　大倉幕府周辺遺跡群　（二階堂字荏柄38番2地点）…… 1
2　安国論寺遺跡・鎌倉城　（大町四丁目1947番の一部外１筆地点）…… 4
3　若宮大路周辺遺跡群　（由比ガ浜一丁目117番14外１筆地点）…… 6
4　由比ガ浜中世集団墓地遺跡（由比ガ浜二丁目1014番15地点）…… 8
5　若宮大路周辺遺跡群　（小町一丁目331番１地点）…… 10
6　清涼寺跡　（扇ガ谷四丁目570番１地点）…… 11
英文要旨…… 12

～例　言～

◎本書は平成24年度に市内で実施した主な遺跡の発掘調査の概要を掲載しました。
本書に掲載した遺跡の調査概要は鎌倉市教育委員会文化財課が執筆・編集しました。

◎本書の作成にあたり、次の方々のご協力をいただきました。深く感謝いたします。
安藤龍馬(株式会社博通)・齋木秀雄(有限会社鎌倉遺跡調査会)・滝澤晶子(株式会社博通)・東京文化財研究所・宮田眞(株式会社博通)（50音順・敬称略）

《表紙写真》　安国論寺遺跡・鎌倉城(大町四丁目1947番の一部外１筆地点)　航空撮影写真
調査地の西方ー谷戸の開口部を望む(東より撮影)

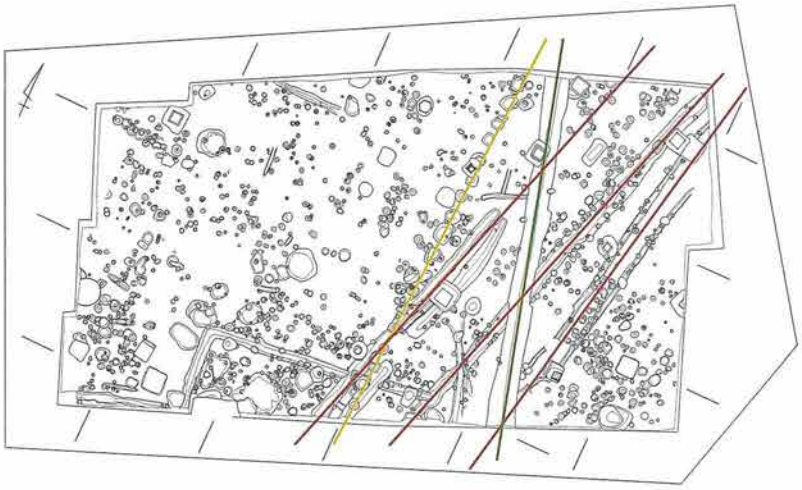
◎表紙題字は松尾右翠氏に揮毫をお願いしました。

1．大倉幕府周辺遺跡群（二階堂字荏柄38番2地点）

Okura-Bakuhu-Shuhen-Iseki Site

発見された中世の籠手

調査地点は源頼朝の御所（大倉幕府跡）と推定される範囲の東側、現在の荏柄天神社の参道の西隣に位置します。この場所からは13世紀代の広大な屋敷の一画であったと推測される遺構群が発見されました。現在の荏柄天神社の参道に平行する溝、斜行する溝とそれに平行する大型柱穴列、礎石建物、掘立柱建物、さまざまな形状の井戸などです。鉄製の籠手、金銅製仏像等、特徴的な遺物も多数発見されました。13世紀後半以降の遺構は後世に削られてしまっており、ほとんど残っていませんでした。一方、中世以前には８世紀の村の跡を壊して水田を営んでいたことも明らかになりました。



第１図　中世遺構配置図
(Fig. 1) Remains layout

凡例
— 参道に平行する溝
— 参道に斜行する溝
— 柱穴列

写真１　調査区全景（中世）（右上が北）
(Photo 1) The view of the remains (the medieval period)

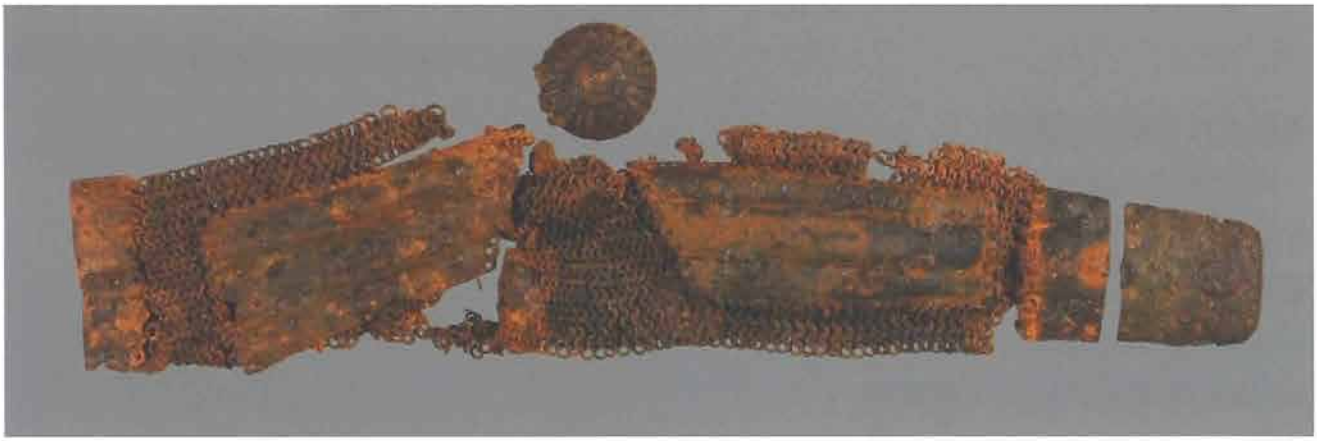


写真２　出土した籠手　（写真撮影　東京文化財研究所）
(Photo 2) Iron arm guard

写真３　六角形の木組井戸（13世紀後半頃）
(Photo 3) Well

写真４　16世紀頃の井戸
(Photo 4) Well

写真５　大型の溝状遺構（12世紀末～13世紀前半頃）
（土地を区画するためか）
(Photo 5) Gutters

写真６　大型の柱穴列（12世紀末～13世紀前半頃）
(Photo 6) Lines of the big pole pits

写真７　出土した金銅製仏像(懸仏)　表

(Photo 7) The front of the copper Buddha statue

写真８　同左　裏

(Photo 8) The back of the copper Buddha statue

写真９　調査区全景(古代)（古代の村と水路のあと）（右上が北）

(Photo 9) The view of the remains (the ancient period)

2．安国論寺遺跡・鎌倉城（大町四丁目1947番の一部外１筆地点）

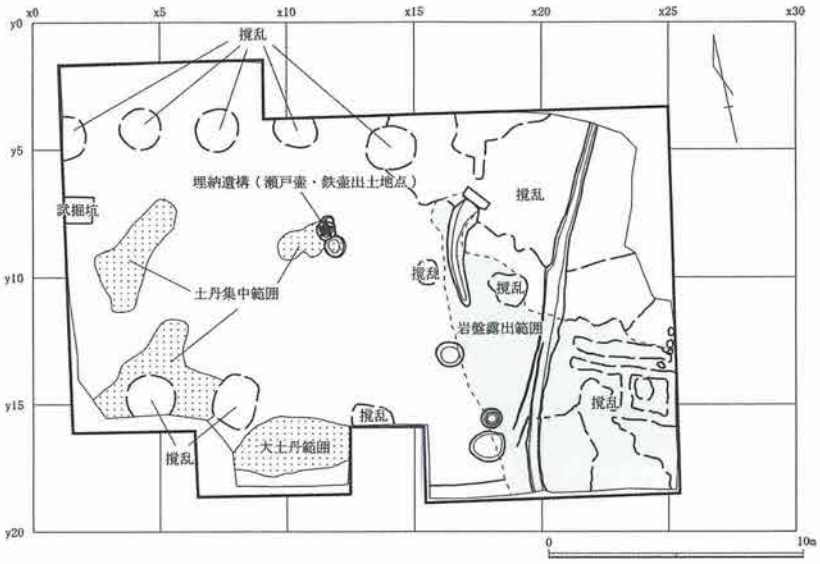
Ankokuronji-Iseki Site・Kamakura-Jo Site

現代へとつながる造成の痕跡

調査は日蓮宗安国論寺境内の一角、現本堂の北側隣接地で観音堂の建設に先立って行われました。調査の結果、この谷戸では13世紀には人の手が加えられ、14世紀にはさらに大規模な造成が行われたことがわかりました。その際、山裾を切岸状※に削り、前面の谷を約２m埋立て、平坦面を造り出していました。この上面では古瀬戸灰釉広口壺、洗、鉄製壺、砥石が一括で出土しており、地鎮等のために埋納した跡と考えられます。それぞれ破損している箇所もありましたが、ほとんど本来の形を留めた状態でみつかりました。

この造成でつくられた地形は現代の地形にも引き継がれており、14世紀に現代へとつながる地形の基盤が整備されたことがわかりました。

※切岸…斜面を削り、ほぼ垂直に切り立った崖面



第２図　第１面遺構配置図
(Fig. 2) Remains layout

写真10　第５面全景（上が北）
(Photo10) The view of the remains

写真11　中世に行われた埋立造成の断面
(Photo11) Development

写真12　古瀬戸灰釉広口壺
(Photo12) Pot of "Ko-Seto" style

写真13　埋納遺構―遺物出土状況　(Photo13) Relics

写真14　切岸とかわらけ溜り
(Photo14) Cut-cliff and Kawarakes

写真15　同左　かわらけ溜り
(Photo15) Kawarakes

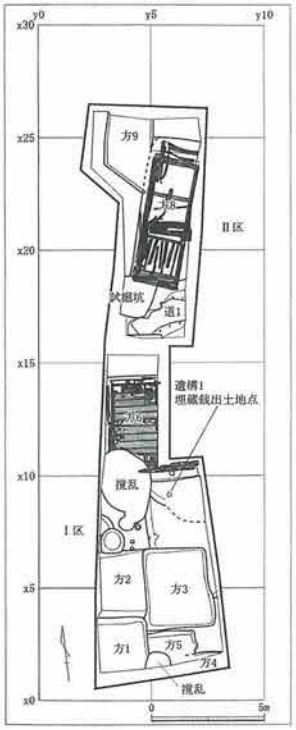
3．若宮大路周辺遺跡群（由比ガ浜一丁目117番14外１筆地点）

Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site

数万枚の銭を発見

調査地点は、下馬交差点から長谷観音方面に向かうバス通りと江ノ島電鉄線路が交差する辺りに位置します。14世紀代の方形竪穴建物跡（半地下式の倉庫か）がいくつもみつかり、そのうちの２軒は大変良好な状態で、当時の床板などが残っていました。

また、建物跡の張り出し部から直径54㎝・深さ30㎝程の曲物に納められた大量の銭がみつかりました。ひもを通した「さし」の状態で銭は納められ、その出土状況から備蓄銭であると考えられます。銭１枚の直径が約2.5㎝なので上から下まで10段から12段重なっていると考えられます。表面では約4,300枚の銭が確認されているので、総計は約43,000から51,600枚と想定できますが、正確な枚数や銭の種類は、現在整理中のためまだわかりません。備蓄銭の出土は鎌倉市内の発掘調査でも例が少なく、貴重な発見となりました。



第３図　第１面遺構配置図

(Fig. 3) Remains layout

写真16　銭の出土状況

(Photo16) Coins

写真17　方形竪穴建物跡　床の状況
(Photo17) Residence site

写真18　同上　床下の状況
(Photo18) Under the floor

4．由比ガ浜中世集団墓地遺跡（由比ガ浜二丁目1014番15地点）

Yuigahama-Chusei-Shudan-Bochi-Iseki Site

道路跡と墓地

調査地点は滑川の河口付近、若宮大路と滑川に挟まれた一角に位置します。15世紀代の南北に延びる道路や、人・動物を埋葬した跡等が発見されました。今回の調査地より東方では、過去の調査で、多数の半地下式の建物跡がみつかっています。しかし、本地点は、その形跡はありませんでした。発見された道路より西は全域が埋葬地として利用されており、道路が建物の多くある地域と墓域との境界になっていたことうかがえます。

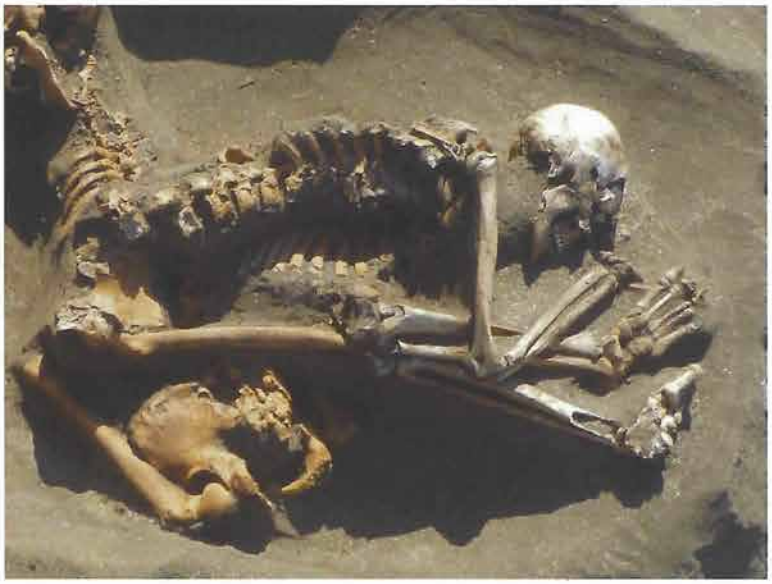


写真19　人骨の出土状況
(Photo19) Human bones

写真20　第１面全景（上が北）
(Photo20) The view of the remains

写真21　第１面道路状遺構
(Photo21) Street

写真22　獣骨（ウマ・ウシ）の出土状況
(Photo22) Animal bones

5．若宮大路周辺遺跡群（小町一丁目331番1地点）

Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site

発掘された中世の道路

調査地点は若宮大路の東に並行する小町大路沿いに位置します。ここでは、小町大路の西側に接して13～14世紀代の道路跡が発見されました。当初、道路は砂を固くつきかためて造られていましたが13世紀後半頃には幅が広くなり、補修を行いながら丁寧に利用されていた様子がわかりました。

道路の西側には溝も見つかり、護岸の板とそれを支える杭が発見されました。また、14世紀後半には板から石を利用した護岸に変わっており、何度も修復が行われていた様子も明らかになりました。

溝の中からは陶磁器、かわらけ、石製品、金属製品、木製品、骨、貝など、当時使われていた様々な遺物が出土しました。

写真23　道路遺構の検出状況（Photo23）The view of the street trace

写真24　青磁皿　出土状況
（Photo24）Plate

写真25　木製品が多量に埋められた穴
（Photo25）Hole

6. 清涼寺跡（扇ガ谷四丁目570番1地点）

Seiryoji-Ato Site

礎板を使った掘立柱建物跡の発見

調査地点は海蔵寺から南東に約170mの場所に位置します。ここでは13世紀中頃に土地利用が始まりました。太さ約15cmの柱を用いた掘立柱建物跡がみつかり、柱の下には柱の沈下を防ぐ板が何枚も重ねてありました。また、建物跡の脇に接して排水のための木枠の溝がありました。その後の13世紀後半には、それまであった溝が大きな泥岩塊で埋められています。これは当時、一帯の土地利用に変化があり、大規模な整地が行われたことを示しています。当時は道路の排水施設や河川の護岸が現在のように整備されていなかったため、整地のための土木工事が幾度となく繰り返されたと考えられます。

また、14世紀初頭に造られたと考えられる、木枠が良好に残る井戸も発見されました。

写真26　掘立柱建物跡　(Photo26) Residence site

写真27　井戸跡の検出状況
(Photo27) Well

写真28　柱の下に重なり合う板の出土状況
(Photo28) Boards

Buried Cultural Properties in Kamakura 17

1. Okura-Bakuhu-Shuhen-Iseki Site

Excavated arm guard in the medieval period

The excavated point is the east of the place where the residence of Minamotono Yoritomo is presumed to have been located, at the west of the approach to Egara Tenjinsha Shrine. The excavated remains are assumed to have been a part of the huge residence. The gutters along and diagonally crossing the approach, lines of the big pole pits, the residence site, various types of the wells had been excavated. In addition, the characteristic relics such as the iron arm guard and the copper Buddha statue were found. It was proved that the people in the medieval period ran a rice field here after they had broken a village of the 8th century and buried a creek there.

2. Ankokuronji-Iseki Site · Kamakura-Jo Site

The trace of the development connected to the present day

The people begun to develop this area in the 13th century, and did extensively in the 14th century. They had cut the foot of a hill and made the flat land. Some pots of "Ko-Seto"style, iron pots and whetstones were excavated from the flat land. The landform developed in the medieval period remains unchanged and is inherited to the present day.

3. Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site

Excavated tens of thousands of coins

Some residence sites were excavated, two of them kept floor boards and so on. A lot of coins were found from the site. Judging from the size of the pot, about 43,000 - 51,600 coins are estimated to be in it, but the sort of the coins is not clear yet. It turned out to be a rare and valuable discovery excavated in Kamakura.

4. Yuigahama-Chusei-Shudan-Bochi-Iseki Site

The cemetery partitioned off by street

A street which extends from south to north and a trace of a burial site for human and animals were excavated. The street was the division between the living space and the cemetery.

5. Wakamiya-Oji-Shuhen-Isekigun Site

The excavated road of the medieval

The trace of the road over 6m in width built in around the 13th century was excavated along the west of Komachi-Oji. The road had been made from hardened sand, and carefully used with repair. The wooden banks were excavated from the gutters west of the road. The people had repaired the banks many times, and changed the material from wood into stone in the late 14th century.

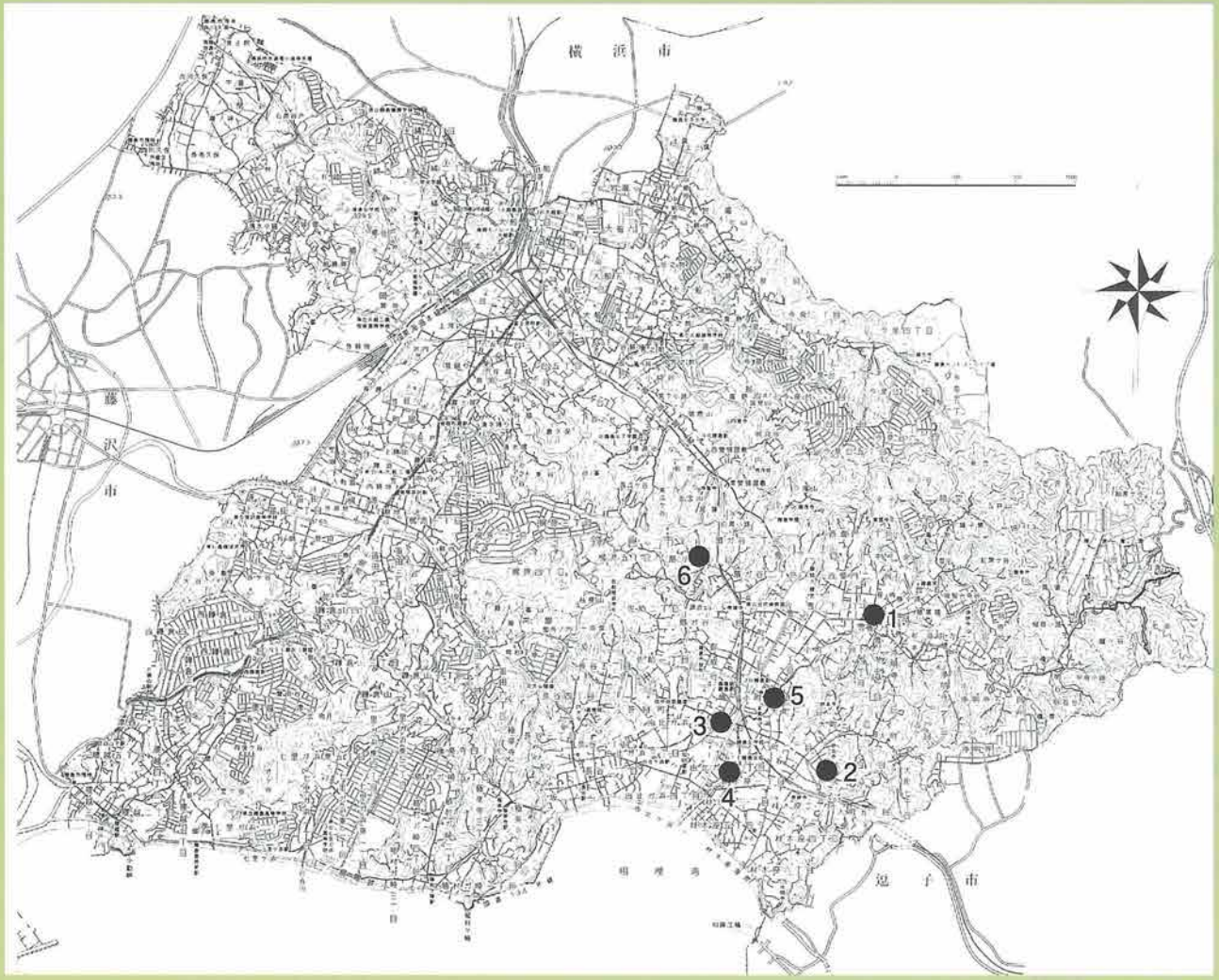
6. Seiryoji-Ato Site

The site of the residence using the foundation board

The site of the residence with wooden pillars about 15cm in diameter was excavated. Many boards for preventing subsidence the pillars were piled under the residence. Also, the gutters for drainage were excavated along the residence. The gutters had been buried with large rocks. These facts show that this place had been developed extensively many times.

写真29　由比ガ浜中世集団墓地遺跡　出土人骨
(Photo29) Skull

本書掲載の調査地点



《掲載遺跡名称及び所在地一覧》

1．大倉幕府周辺遺跡群　（二階堂字荏柄38番２地点）
2．安国論寺遺跡・鎌倉城　（大町四丁目1947番の一部外１筆地点）
3．若宮大路周辺遺跡群　（由比ガ浜一丁目117番14外１筆地点）
4．由比ガ浜中世集団墓地遺跡　（由比ガ浜二丁目1014番15地点）
5．若宮大路周辺遺跡群　（小町一丁目331番１地点）
6．清涼寺跡　（扇ガ谷四丁目570番１地点）

鎌倉の埋蔵文化財 17

発　行　日　平成26(2014)年３月31日
編集・発行　鎌倉市教育委員会
〒248-8686　鎌倉市御成町18番10号
TEL：0467(23)3000　FAX：0467(23)8700
E-mail：bunkazai@city.kamakura.kanagawa.jp
印　　刷　中川印刷株式会社